

浜盛重則さん
沖縄タイムス「大弦小弦掲載記事

当会会報 7月発行の第五三号にて一部誤りがありましたのでお詫ひして訂正致します。

前回会報で、「この欄で紹介した、浜盛重則さん 琉球新報「大玄小玄」掲載記事は、琉球新報ではなく沖縄タイムスの間違いでした。

また、四月十三日付とありますがのは沖縄タイムス社からの著作物使用許可書が届いた日であり、沖縄タイムス社の新聞に掲載されたのは二〇一二年三月二〇日付の沖縄タイムス紙でした。

そして、当記事に関する著作物使用許可の手続きなど、当会事務局長の宮野さんが「尽力されていたものです。」

関係者の皆様には、大変「迷惑をお掛けいたしました。誠に申し訳ございませんでした。今後とも皆様方に愛される紙面作りには尽力する所存です。」「指導」「鞭撻をよろしくお願い申し上げます。」お詫ひの「挨拶」とさせて頂きます。

以下に正規の文面を掲載致します。

三月二十日に沖縄タイムスのコラム「大弦小弦」に連合会役員で沖縄美ら島大使でもある濱盛重則さんが取り上げられましたのでそのまま紹介致します。

「あなたには翼がある。それを使うことを学び、飛びなさい」。中東の詩人の言葉という。名古屋市内で琉球料理店を営む与那国町出身の濱盛重則さん(六十二)の翼は、五十年來の相棒となる三線だ。▼濱盛さんは中部日本放送(名古屋市のラジオ番組「チバリヨ」沖縄)のパーソナリティー。番組は「ハイサイ、浜ちゃんやいびーん」でスタートする。

投稿 マフイグミ ②

靈魂を落としたまま放置しておく病氣にかかり易くなる。要はチルダイして肉体的にも精神的にも充実していかないだからワイルズやマジムシ(怪)の物が身体の中に入り易くなっているのだ。靈には生靈と死靈があつて死靈は死んだ人の靈であり、生靈は生きている人の靈魂である。

沖縄には「姉妹神信仰」があつて、男性はその姉妹母などの生靈に護られていると考えられている。昔は琉球王国の最高の女神である間得大君が王親の守護神(姉妹神)だったのである。以前は旅に出る場合など姉妹の手拭いをも身につけて姉妹の生靈に守護してもらつた考えが強かった。なにしろ人は生靈が充実してこそ元氣でいられるのだ。そのあたりのお話は、またの機会に……

ところで魂込みだが、魂を抜かれた現場やその原因が判然としない場合、病氣が長引いた場合も抜けるからは、自宅の門や玄関で、御馳走、御酒、御米などをお膳に乗せて供える。それから魂込をされる人の服も「着用意しておく。御香を点灯して祈りをささげる」〇〇〇〇あなたの家はここですよ。何処へも行ってはならないよ。ここにいなさい」

そのような事を三回唱える。呪いを唱えながら用意した服を前に差し出したり手元を引き戻したりを三回する。差し出した時に生靈が服に宿り、とどまるのである。

そして二〜三粒の御込みを魂込される人の頭にのせる。

魂込みされる人は、儀式的場に同席せずとも近くにいれば良い。病人の場合は寝ていてもいいのだ。

大切な呪いを忘れていた。「魚飯捜して食べさせて下さい」とも呪つた。これは以前に述べた簡

▼民謡演奏のほか、沖縄の歴史や黄金言葉、食文化、観光などを紹介する。番組は二〇〇一年米国の同時多発テロの影響で沖縄の観光客数の減つたことがきっかけ。沖縄を応援したい一心だったという。打ち切りの危機を乗り越え、番組は十一年目に▼沖縄本島の高校を卒業し、名古屋市の大学、英国への留学。庭の黒木で作った三線と歩んだ。名古屋市内で故郷を思えば、庄内川の岸で泣きながらつま弾き、英国では老人施設を訪問、地元テレビBBCの取材を受けた。▼「沖縄の文化はすごい。沖縄の音楽を弾くたびに世界が広がり、友人が増えた」という濱盛さん。三線片手に世界を渡り歩いた▼若者には「島を飛び出し、さまざまなことを体験してほしい」と力説する。一方で「原点を失うな」とも。豪快な笑いを交えた語りが人気の源。尽きない話題の中、「言葉をおぼれたら島忘れ、島忘れたら親忘れれる」の言葉が心に残った。(与那原良彦)

沖縄タイムスシステム局から四月十三日付で「沖縄タイムス著作物使用許可書」をいただき、原文のまま掲載しました。

なお、「チバリヨ」沖縄はCBCラジオの第一・第二・第五土曜日朝八時台で生放送されています。事務局長 宮野博之

愛知沖縄県人会連合会
愛されるマークを設定

今年に入り、愛知沖縄県人会連合会(以下、連合会)の活動は、ホームページや特約店など「協力頂ける方が増え益々盛んになってきました。」

そんな中、連合会役員、理事の結束と連合会を広く知ってもらうために統一された名刺の作成などを進めていくことになりました。そこで理事会の中で、連合会のシンボルマークを募集したところ、入米厳正琉球民謡

易呪いの場合もかかさずに唱えなければならぬ占いである。その場合の魚飯とは運命なのだとの説もあり、関心を持ち続けている事柄でもある。

靈魂込の儀式的の終わりにには祈りの場の両サイドに、悪霊が入ってこないように盛塩をして儀式は完了である。

最後に、沖縄の作家で又古米書「豚の報い」の中で、バーにフタが入ってきて皆が魂を抜かす。「これはマフイグミせねばならん」と言うことで物語が進んでいくのである。

あまり参考にはならないと思つた「と」よりも、あまり覚えていない。

芥川賞を受賞した小説でもあるし、参考になると思つたので読んでみるのもいいかもしれない。

ティーダぬファー

ティーダぬファーさん。ありがとございしました。また、楽しい原稿をお待ちしております。

「ていんさんぬ花」
親から子への教え

ていんさんぬ花や
爪光(ちみよ)に染(す)みて、
親(うや)ぬゆし事(べと)ちや
肝(ちむ)に染(す)みり
天(ていん)ぬ群(む)むりぶし(や
読(ゆ)みば読(ゆ)まりしが
親(うや)ぬゆし(べと)ちや
読(ゆ)みやならん
夜(ゆる)ま(は)らん舟(ふに)や
子(にぬ)う(ふあ)ぶし(見)当(てい)我(わ)ん(生)な(ち)え(る)親(うや)や
我(わ)ん(見)当(み)あ(てい)

【ヤマトウケ手紙】

ホワセンカの花は爪先を染めるために付けるけれど、親の教えてくれた事は一生、心の中に刻み付けなさい。

研究所の小倉塚哉さんから、愛知の沖縄県人会を象徴する素晴らしいマークが寄せられました。ありがとございします。



愛されるシンボルマークに

愛の字の「心」肝の部分に沖の字を据えた造形により出身は違っても愛知県で沖縄を想う心で共に活動を続ける方々の姿勢を表現。「愛」という見慣れた字を基本造形にすることで親和性を、その一部を変え、ことで新規性のあるロゴを演出。

躍動的形状と鮮やかな配色により、豊かな自然に恵まれ、明るく活発な沖縄の雰囲気を表す。

小倉塚哉

さて皆さんには、どんな文字がみえますか？ 今後、様々なシーンでお目にかかるかと思いますが「愛願頂きますよ」ゆたしく、うにげさびら」

ふるさと全国県人会まつり 2012
九月八・九日、久屋公園にて開催

東海地方で活動する全国(北海道から沖縄)の県人会がそれぞれの特徴を活かした展示、体験、販売を行い、私たちの県人会も「唄と踊りの島 沖縄」というテーマで参加しました。

沖縄を代表する民謡の披露には、もちろん三線の軽快なリズムと歌声が、聴く人を瞬く間にウチナーの世界へと誘い、ひと時の沖縄旅行を堪能していただけたと思います。

販売ブースには、名古屋ではなかなか入手することが難しいオリオン生ビールや沖縄の製麺所から取り寄せたソーキソバ、サーターアンタギーを目の前で調理販売、お子

あの無数に輝く天の星たちさえも、数えようとすれば数えられるけれど、親から授かった尊い教えは、とても数えられるものではありません。

漆黒の夜に沖へ出る船は、北極星だけを頼りにして進んで行くように、私を生んでくれた親は、私の成長だけを楽しみに生きています。

「この歌は、沖縄県出身の金井喜久子さんが作曲。同県が日本返還された頃から多くの県民に知れることとなり、童謡歌としても小学校を中心に歌われるようになったそうです。

今年三月に沖縄本土復帰四〇周年を記念した県民愛唱歌(うちなあかさなうた)に選ばれました。

また、四月に開かれた「愛知沖縄県人会連合会の総会&ゆんたく会」に於いても、最後の閉会歌として参加者全員が合唱して

様からお年寄り、内地の方から同郷の方まで、たいへん好評を博すことが出来ました。

琉装体験では、色鮮やかな紅型衣装を身にまとった女性が会場に出ると、来場された方々から一斉に注目を浴びて絶え間なくカメラのフラッシュが焚かれる場面もありました。十月十四日の「毛遊び」でも、たくさんの方々に紅型を着ていただけましたよ、「用意させていただけますので、是非ご期待ください。」

三線教室と琉装体験も
楽しめますよ♪



愛知沖縄調査会からのお願い

調査会では、報告書V012「芸能篇」の編集と並行して、V013刊行にむけて準備に入っております。このV013は、主に戦後の県人の足跡を記述するものです。そこで、戦後の愛知県内の各沖縄県人会やさまざまな沖縄出身者の集まり、催しなどの資料、沖縄出身者関連の新聞記事、などなど、どのような資料でも結構です。から、「提供いただきたくお願い申し上げます。詳細は、調査会代表の阪井芳貴までお問い合わせください。」

名古屋瑞穂区瑞穂町字山の畑
名古屋市立大学大学院人間文化研究所
阪井研究室 sakai@nunagoya-u.ac.jp
052-892-5181 (研究室直通)
052-892-5184 (FAX)
090-2775-1576(携帯)

人の道を説きながらも真心の伝承を改めて心から呼び覚まされるものでした。

これからも我が連合会は先人の礎を受け継ぎながらも、その魅力ある沖縄を広めて行きたいと考えております。

◆沖縄の歌と音についての話◆

沖縄を代表する歌には、近時だけでも宮沢和史「島唄」、古謝美佐子「童神」、BURNIN'、アジアの歌姫と言われる安室奈美恵など、誰にでもなじみのある曲が溢れ、この島全体には煌めく太陽と小鳥のさえずり、打ち寄せる波のささやきも響き渡っている。

身体を優しく包み込む島風には、乾いた三線の音色が、いつも重なり流れて都会の喧騒と人工的な音とは対照的な沖縄が、年間600万人の観光客を魅了している。

沖縄の時は刻まれるものではなく、流れ動くものである。そこから生まれる音楽こそ人の心を癒し、豊かにしているのではないだろうか。

愛知沖縄県人会連合会ホームページ
リニューアルオープンのお知らせ
我が愛知沖縄県人会連合会のHPが新しくなりました。
(2012年3月25日から公開中)
沖縄好きなかた、ご興味のあるかた是非ご覧下さい。
会報以外の情報も盛りだくさんの掲載です♪
<http://aichi-okinawa.org/>

◇イベント情報◇

★第14回 あいち沖縄まつり 毛遊び★
日時:10月14日(日) 10:30~16:30 荒天の場合予備日 10/28(日)
場所:名古屋港ガーデン埠頭 集いの広場
入場無料 愛知沖縄県人会連合会主催の一大イベント
詳しくは、この会報1面か県人会HPまで HP:<http://aichi-okinawa.org/>
お問合せは 080-5168-5422 仲宗根まで

★名古屋祭り 英傑行列 ★
日時:平成24年10月20日、21日(土)(日)
場所:土曜日 名古屋駅スタート 日曜日 県庁前スタート
愛知琉球エイサー太鼓連 秀吉隊にて参加予定

★普天間 青年劇場公演★
日時:2012年11月21日(水) 開場 18:00 開演 18:30
場所:アートピアホール(名古屋市青少年文化センター)
入場料:全席自由 一般3800円 学生2000円
お問合せ 052-804-2900 090-3563-3830 名古屋中沖縄県人会 小原まで

愛知琉球エイサー太鼓連
一箱こエイサーするサ〜サ〜♪
会長 美里梨恵
E-mail taikoren_8131@yahoo.co.jp
URL http://www.geocities.jp/eisa_taikoren/
愛知 エイサー で検索! 今すぐHPへアクセスGO!

おきなわカマ
やんばる
シーキそば・サーターアジギ
10:00~18:00 0565-76-7372
月 定休 豊田市白川町日面274-25
<http://www.015.upp.so-net.ne.jp/yanbaru/>

沖縄居酒屋 **くわち〜**
店長 知念 若太 CHINEN RYUTA
〒465-0042 名古屋市名東区阪が丘2
イーストスクエア1B
TEL:052-778-1700

沖縄居酒屋 **ゆいゆい**
大城 節子
〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目8番27号
栄三丁目栄三ビルB1F
栄プリンセス大通り かに本家隣
TEL 052-263-5663
<http://yuiyui.kidane.com>
定休日:火曜日

うりづんエイサー
琉球の風を吹かそう!
会長 新居 健児
TEL:080-5135-3917
〒474-0073 大府市東新町6-16 ラナンキュラス205

沖縄家庭料理 **遊来**
営業時間 PM 5:00~PM 11:00
定休日:月曜日
TEL:0561-63-0608 瀬長 恵子
愛知県愛知郡長久手町井堀327